

芦屋市議会議員

大原ゆうき



<http://oohara-yuuki.jp>



大原 裕貴



@ooharayuuki



平成30年9月定例会特集

一般質問

災害発生時の対策について

～災害対策本部の設置について～

- ① 6月18日の大阪北部地震は職員登庁前に発生したが、「芦屋市災害対策本部の組織に関する規則」で定められた要員配備体制を直ちに機能させられたのか？
- ② 今後、職員が登庁していない時間帯に大災害が発生した場合、体制構築は可能なのか？

<当局答弁>

- ① 当日出勤済の正規職員は51.9%。初動対応、および通常業務への支障は出なかった。
- ② 3号配備体制が必要な大規模災害発生時には、職員の参集状況に応じた優先度を考慮し初動対応を行う。

～ICT部門の業務継続計画について～

- ① 大災害発生時は交通インフラの麻痺によりベンダーの到着遅延が予想される。職員のみでの復旧は可能なのか？
- ② 年次の訓練では、どこまでの訓練を実施しているのか？

<当局答弁>

- ① 契約上、各システムベンダーが復旧作業を行う。職員等の作業手順書はないが、ベンダーの技術者をサポートできるよう取り組んでいる。
- ② 年次訓練は情報の伝達訓練や職員だけで主要サーバの異常を見分ける訓練を実施している。また、今年度はサーバの復旧訓練を計画しており、災害等に備えている。

広報について

～市ホームページのアクセス解析について～

- ① 市ホームページのアクセス解析は行っているのか？解析データは、利用者ニーズを測る上で有効と考えるが、市としての見解はどうか。

<当局答弁>

- ① 平成32年度のシステム更新に向け、更にアクセス解析機能の利用範囲を拡充し、広報発信力の向上を図っていく。

～インターネット環境での情報発信について～

- ① 市ホームページの最新情報を取得できるアプリ「マチイロ」の広報を強化する予定は無いのか？
- ② 各所管課にて活用されているSNSについて、どう評価しているか。フォロワー数を見ると、有効活用できているとは言い難いものもある。今後、どのようにして有効活用をしていく予定なのか？

<当局答弁>

- ① 『マチイロ』は広報あしややホームページなどとも相乗効果が発揮できるよう、SNS等で周知していく。
- ② SNSでの情報発信は、複数のアカウントの運用により、幅広いユーザーに対して多様な選択肢を提供するためにやっている。今後は各アカウントの特性を生かしながら、機を捉えた効果的な情報発信に努めていく。

駅前の違法駐車に対する対応について

～災害対策本部の設置について～

- ① JRや阪急の駅前では駐車・停車が目立っている。所管課が定期的な啓発活動をしているが、大きな効果が出ていない。一定時間無料で貸し出す駐車場を用意した上で迷惑駐車を取り締まりを厳格化するなど、システムの対応で駅前の迷惑駐車を無くすことはできないか？

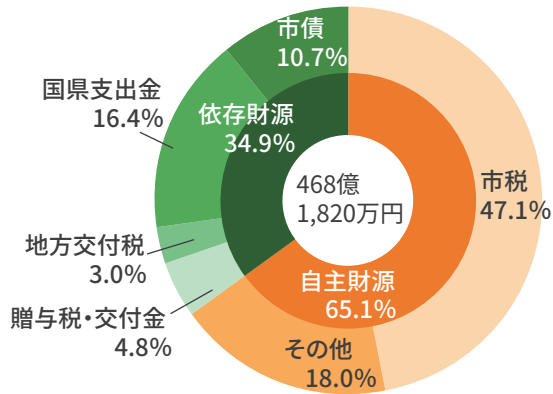
<当局答弁>

- ① ラポルテ駐車場の一定時間の無料化は、民間との一体利用であることも踏まえ研究していく。またJR芦屋駅南地区の違法駐車対策は交通広場の共用開始と合わせ、警察との連携のもと、発生防止に取り組んでいく。

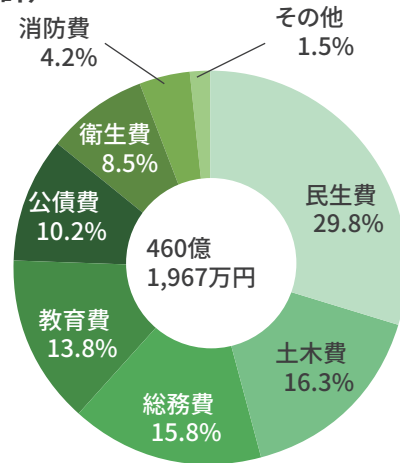
平成29年度決算認定について

歳入・歳出について

歳入（一般会計）



歳出（一般会計）



各種財政指標について

経常収支比率

経常的経費に充てられた一般財源が経常一般財源に対しどの程度の割合となっているかを示す数値。地方財政においては財政構造の弾力性を判断する指標として用いられる。

| H27年度決算 | H28年度決算 | H29年度決算 |
|---------|---------|---------|
| 93.7% | 99.2% | 112.6% |

平成29年度決算は、前年度よりも13.4ポイント悪化している。また、100%を超えているため、**恒常的に必要な経費が収入では賅っていない状態になっており、財政が硬直化している**と言える。

100%を超えている状況は芳しくないが、平成29年度での悪化は公共用地先行取得等事業債が満期を迎え、一括償還したことに起因する。なので、今後も慎重な運用は必要であるものの、**数値そのものに大きな問題はない**と見ている。

将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等が、決算年度末にどれだけ残っているかを示す比率。数値が大きいほど将来財政を圧迫する可能性が高い。

| H27年度決算 | H28年度決算 | H29年度決算 |
|---------|---------|---------|
| 121.6% | 96.0% | 90.4% |

年々改善されつつある。また、100%を下回っているため、**市債総額が基金と1年間の収入を返済に回せば、1年で完済できる**状況になっている。

各種の投資を行わずに貯めこんだ場合も将来負担比率が低くなる。なので将来負担比率が低い＝健全運営とも言いきれない。ただ、少なくとも今のように100%を切っており、減少傾向にある状況を見る限りでは、**健全な財政運営が行われている**と見ている。

決算認定について

賛成多数で認定という結論に。会派、個人としても以下の理由で賛成。

- ① 事業推進について
限りある資源を有効活用し、総合計画等を推進してきたことを評価する。
- ② 財政指標について
経常収支比率は悪化しているが、その他の指標は概ね改善。
経常収支比率の悪化も、満期を迎えた市債の一括償還があったことに起因し、基本的には安定した財政運営が行われてきたものと考え、評価する。

- ③ 今後の展開について
今後も厳しい財政状況が予測されるため、以下の取り組みの継続を要望。
 - 限りある資源の有効活用の継続
 - 慎重な財政運営の継続
 - 持続可能な行政運営を目指した取り組み

大原ゆうき プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ (34歳)
- シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て 関西学院大学経済学部を卒業。
卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年4月26日の統一地方選にて2793票ものご期待を頂戴し、初当選。

ブログ更新中!

日々の活動などを更新し、情報公開に努めています。
<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

